

autocult

“Edition 2021” + Tatra V855 Aeroluge (ドイツ, 1942)

年間モデル

Scale 1/43

#99121

available

12/2021

Limited edition 333 Stk.



ロシアの湖を超えて

ニューエディション2021は普通の本とは違います。長い間忘れられていた自動車、ブランド、開発の物語についてもっと知りたい自動車愛好家のための本です。珍しかったり、速かったり、奇妙であったりと、2021年に生産されたオートカルトモデルに関する、多くの歴史的な写真やイラストに彩られ、歴史的正確性に裏付けられた多くの興味深い物語が満載された、この本（および今後発刊される版）は、自動車の歴史に興味がある人たちにとっていわば体験する読書となることでしょう。

1939年ズデーテンランド併合後、1941年からはロシア征服という壮大な計画を持ちながら、ドイツ軍は自分たちの部隊が迂回を避けて広大な凍った湖を横断したいと思っても、そのための適切な移動手段を持っていないことに痛切に気付いていた。前置きはともかく、ボヘミアのネッセルスドルフにあるタトラ工場はその用途に適した車両の設計を依頼された。彼らは幅の広いスキーを2組、車両にリーフスプリングをつけて吊り下げるように取り付けて、前の

一組は操縦可能にし、滑走できるようにした。傾斜を登るのに推進力が必要になったときは、スパイクローラーがその助けとなった。エンジンは3リッターV8で75HP、生産終了となっていたタイプ87の乗用車の部品が使われた。エンジンは車体の後部に付けられたプロペラの動力に使用された。そのエンジン/プロペラシステムによって、比較的平坦な地面で最高時速80kmを出すことができた。そのスノーグライダーには、従来のブレーキペダルを通して、前部のスキーに作用する、ダイナミックなブレーキが用いられた。ペダルを踏むと、スキーが内側に向きを変え、雪の表面との摩擦が加わるというものであった。

エンジンに加えて、ボディも自動車生産から採用された。フロントを短くし、V8エンジンと強力なプロペラが車体後部に搭載された。インテリアは前列に2人、後列に3人分の座席。5人乗りにしたことで、トランクやその他の内部の収納スペースを加える余地はなかった。その構造は、第二次世界大戦中の軍事作戦における人や物にとって

決して理想的ではなかったことが、当時でも明らかであった。

軍内部では、車両は略してV855や、Aerolugeとも呼ばれていた。おそらく車両は軍の関係者によってテストはされたが、最終的にはプロトタイプのみであり、今日ではレプリカが存在する。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de